

**製品名 (告示品名) 太陽熱利用装置**

告示対象条項 低炭素投資促進法告示 1項6号

条文 リース信用保険 : ○

熱交換により太陽熱を利用するための装置のうち、日集熱効率が、次の表の左欄に掲げる区分ごとに同表の右欄に掲げる基準日集熱効率以上のものに限る。

区分	集熱器の形状・透過体	日集熱効率
液体	平板形透過体付き	40パーセント以上
	真空ガラス管形	40パーセント以上
空気	平板形 透過体付き	30パーセント以上
	透過体なし	10パーセント以上

(備考)「日集熱効率」とは、集熱器の1日の単位面積当たりの集熱量(集熱媒体平均温度から、周囲温度を差し引いた値が10Kかつ一日当たりの日射量が20,000kJ/m<sup>2</sup>であるときの値を日本産業規格A4112に準拠して算出したもの)を、集熱器総面積に入射する単位面積当たりの太陽放射エネルギー又はソーラーシミュレーターによって受けるエネルギーの1日の積分値で除した値をいう。

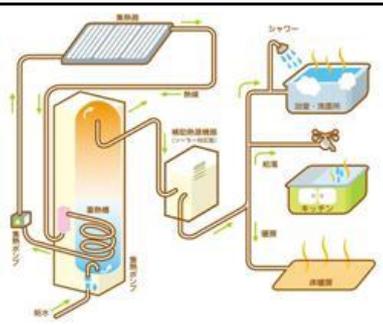
ESGリース : ×

太陽熱利用装置とは

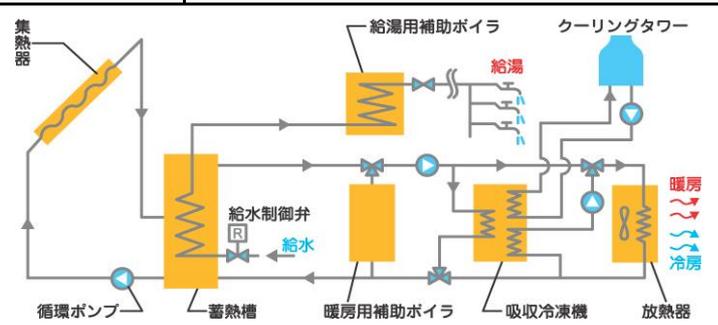


一般的にはソーラーシステムと呼ばれ、太陽の熱で水や空気を暖め、給湯や暖房に利用する機器。

しくみ  
メリット・特長



一般住宅用



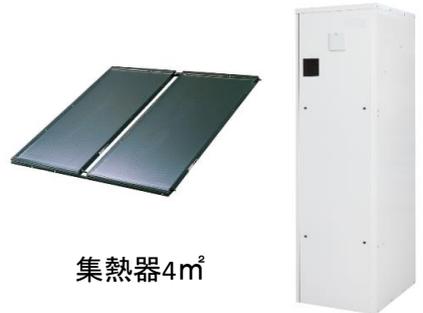
事業用  
給湯、冷暖房

太陽の熱を集熱器で集熱し、熱媒を循環させて水や空気を暖め、給湯・暖房に利用。また事業用では吸収冷凍機を用いて冷房に利用する。

種類(例)



集熱器6m<sup>2</sup>  
タンク300リット



集熱器4m<sup>2</sup>

製品名 (告示品名)	太陽熱利用装置	
導入事例		
		
関連工業会	一般社団法人ソーラーシステム振興協会	
開発メーカー 五十音順	株式会社サンジュニア 株式会社ノーリツ 矢崎エナジーシステム株式会社	
販売価格帯	住宅給湯用: 1台65~85万円 (集熱器6㎡、タンク300リットル、設置費込)	
Reduce CO2 環境効果 	無限でクリーンな太陽エネルギーを使って給湯や暖房に利用するので、ガスや電気の使用を確実に減らすことができ、CO2の排出削減になる。LPG使用の場合だと平均して約680kg-CO2/㎡・年のCO2削減効果がある。(協会シミュレーションによる)	
Save Energy 省エネ効果 	熱源 (LPG、灯油、都市ガス、電気等) の使用を削減できる。	
Save Money 経済効果 	住宅用の場合、平均的には年間5万円程度の光熱費節約になる。	
適正リース期間	X年~X年 (耐用年数15年の「給排水又は衛生設備及びガス設備業用設備とした場合」)	